



大草小学校だより

第10号

令和5年9月1日

校長 山口 隆

藤原新さんから学んだこと

大草陸上クラブ10周年記念イベントの際にお会いした藤原新さん。言わずと知れた大草出身のオリンピックです。その藤原さんに、夏休みに行われる教育講演会の講師を務めていただきました。8月25日、諫早文化会館において350名を超える諫早市の先生方を前に、自身の体験から学んだことを、「逆境との向き合い方」と題して講演していただいたのです。

この中で学んだ言葉を、子どもたちに始業式で紹介しました。

「100%の努力をして、失敗してみよう。その先に何が見えるか。」

という言葉です。人間は何かに挑戦しようとするとき、どうしても失敗を恐れてしまいます。そして、結局努力もしないまま、あきらめてしまいます。できない言い訳をたくさん探しながら…。

私自身これまであきらめずに努力したことを探してみても、ようやく思い当たりました。それは、「一輪車に乗ること」です。子どもころは全く乗ったこともありませんでした。初めて乗ったのは、教師になって8年目、すでに30歳を過ぎていた時のことです。その年の夏休み、一輪車の研修会に参加し、その後もずっと練習し続けました。家でも学校でも練習しました。学校では、すでに乗れる子たちから笑われながらも練習しました。上手な子たちがコツを教えてくださいました。何度も転んだり、一輪車が飛んで行ったりと失敗しました。それでも練習を続けました。そのうち、3m、5mと自力で進めるようになり、ついに乗ることができるようになったのです。

すいすい進むときに受ける風はとても気持ちよく、ちょっと高いところから見る景色は眺めがとてもよかったです。次の年には「一輪車クラブ」をつくって、子どもたちと一輪車でサイクリングロードを走ったり、手をつないで乗ったりして楽しみました。一輪車は大人になってからでは遅い、とあきらめずに本当に良かったと思います。

子どもたちも、この2学期、100%の努力をして、そして失敗してみしてほしいと思います。この繰り返しこそ、藤原さんのようにたくましい人間を育てるのだと思うのです。

